

ユーザーマニュアル

デジタルサイネージディスプレイ

超高輝度 “DS シリーズ”

DS861LR4



この度はお買い上げいただき誠に有難うございます。ご使用前に本取り扱い説明書をよくお読みにになり正しくお使いください。3 ページの安全に関するご注意事項は必ずお読みください。本書は大切に保管ください。

本書で使用される図表等は参照用のみです。実際の製品とは異なる場合があります。製品の設計および仕様を予告なく変更することがございます。

目次

安全上の注意事項.....	3
セットと付属品の確認	6
セットの取り出し.....	6
同梱物の確認.....	7
リモコンの電池の挿入/交換.....	7
設置について.....	8
マウント.....	8
設置方向	9
設置場所 条件.....	10
壁かけ設置.....	11
電源への接続.....	12
外部ビデオソースに接続する.....	12
コネクターの配列 入力/出力端子.....	13
操作説明.....	14
ディスプレイの電源を入れる/切る.....	14
リモコンの使用法.....	15
リアパネルコントロールスイッチの使用法.....	17
オンスクリーンディスプレイ (OSD)メニュー操作説明.....	18
仕様.....	22
対応入力信号.....	23
RS-232C ピン配列 入力・出力.....	23
トラブルシューティング.....	24
DSM365 について.....	25
インテル®スマート・ディスプレイ・モジュール(Intel®SDM)対応スロットについて.....	27

電波障害に関するご注意

この装置は、クラス A 相当の情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。その場合に使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- * 本製品をラジオ・テレビ受信機から十分離して別のコンセントに接続下さい。
- * この製品に接続するケーブルはシールドされたものをご使用ください。

本製品の廃棄

本製品を破棄する場合は地域や地方自治体などの規制に従って処置ください。

商標に関する情報

- * HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- * DisplayPort は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
- * インテルの商標およびロゴは、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- * Android™ は Google LLC の商標です。

免責事項について




- * 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して当社は一切の責任を負いません。
- * 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 取付/取扱説明書の記載内容に反することで生じた損害に関し当社は一切の責任を負いません。
- * 誤操作や静電気のノイズにより本製品に記憶されたデータなどが変化/消失することがあります。これらの場合に当社は一切の責任を負いません。
















安全上の注意事項



～必ずお読みください。～

本項では製品を安全にお使い頂くための重要事項が記載されています。よくご理解下さい。

[記号の意味]

	本記号は禁止（してはいけないこと）を示します。		本記号は指示（しなければならないこと）を示します。		本記号は注意（気を付ける必要があること）を示します。
---	-------------------------	---	---------------------------	---	----------------------------

 警告 この条項を守らないと大けがや重大な事故につながる可能性があります。	
	ディスプレイは濡れた場所に設置せず、また花瓶など液体が入った物は機器の上に置かないでください。
	ディスプレイは灯油などの可燃性または揮発性の液体の側に設置しないでください。
	ディスプレイはラジエーターなど、発熱する機器の側に設置しないでください。
	ディスプレイはホコリの多い場所に設置しないでください。
	電源コードおよびプラグを破損させないでください。重い物の下敷きにしたり引っ張ったりねじったりしないでください。
	スクリーンを解体すると感電の恐れがありますのでお止めください。
	濡れた手でスクリーンに触れると感電の恐れがありますのでお止めください。保守点検は販売店へお問い合わせください。
	煙や異常音、変なにおいがする場合はすぐに電源を切りプラグをはずし、取扱店までご連絡ください。
	内部に水や遺物が入った場合は電源を切りプラグをコンセントから抜いて取扱店にご連絡ください。
	電源は正しい電源電圧のコンセントを使用してください。電源コードは本体の付属品を使用してください。
	機器を落としたりキャビネットが破損した場合、ひび割れや以上な振動など構造的異常が発生した際は電源を切りプラグをコンセントから抜いてください。
	転倒・落下防止の処置をすること。落下などによるけがを防ぐため、設置時に処置をしてください。要領は設置環境にも関連します。設置業者にご相談ください。
	雷が鳴りだしたら本体、電源コード、本体に接続された機器、ケーブル類には触れないでください。
	アースを接続すること。アースが接続されないで万が一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。また、静電気で機器にダメージを与える可能性があります。アースが接続できない場合は専門の工事業者にご相談ください。

 注意 この条項を守らないとけがや機材の破損、事故につながる可能性があります。	
	長時間の使用後は、スクリーン裏のヒートシンクが過熱している場合があります。火傷の恐れがありますので触らないでください。
	スクリーンに鋭利な物体で触れたり、過度に圧力を与えたりするとパネルが破損することがありますのでお止めください。
	ディスプレイは狭い場所には設置しないで通気性の良い場所に設置してください。通気口やヒートシンクを覆わないようにしてください。
	スクリーン上に物を落とさないでください。
	機器を清掃する前に、電源コードを抜いてください。スクリーンを拭くときはやわらかい乾いた布を使用してください。アルコールまたはその他の液体薬品を使用しないでください。
	温度の高いところ、多湿、埃が多い、或いは煙霧の発生する場所では使用しないでください。
	太陽光が当たり温度が上がる場所ではエアコン・サーキュレーターによる換気で温度を使用条件内に維持してご使用ください。
	本体の取り扱いにご注意ください。水平ではない場所や不安定な物体、振動する物体などの上に置かないようにしてください。落下や破損の原因となります。梱包材は次回運搬時のために保存してください。
	本マニュアルで説明している使用手順に従ってもディスプレイを操作できない場合、稼働しない場合は速やかに電源を切り電源コードをはずしてください。販売店までご連絡ください。
	本機器は通常、標高2000メートル以下の環境で作動します。2000メートル以上の標高で本機器を設置すると異常をきたす可能性があります。
	本機器は家庭ごみとして廃棄しないでください。地域の廃棄物規制に従って正しく処分してください。
	壁掛け設置ではコンクリートまたは表面が不燃性のもののみマウントしてください。設置業者にご確認ください。
	電源コードは建物壁の表面を這わせないこと。又、壁の中、天井、床下等建物の構造上見えない空間を通した設置をしないでください。
	本機器は無線周波エネルギーが発生、および放射します。本機器が発生させる無線周波エネルギーは、FCC (連邦通信委員会) が定める、ばく露制限値を大幅に下回っています。



注意

その他のご注意事項

*** 液晶焼き付けに対する推奨操作**

スクリーン上に静止または固定画像を長時間表示し続けると、画面に焼き付けが生じる場合があります。焼き付けを防ぐため、同一の静止または固定画像を長時間表示しないようにご注意ください、コンテンツの切り替えを行ってください。この画像の焼き付けは、メーカー保証の対象外です。

*** 液晶パネルの清掃お手入れについて**

- やわらかい布でスクリーンパネルの埃をふき取ります。
- パネルを拭く際には固い素材のものを使用しないでください。
- 手や鋭利な物体（ペンや爪など）でパネルを突いたり、強い圧力を与えるとパネルが破損する場合があります。
- パネルが変色する恐れがあるため、洗浄液は使用しないでください。

*** キャビネットのクリーニング**

- 電源コードを抜きます。
- 柔らかい布でケースを拭きます。

お手入れ時の注意事項

- ケースの塗料に異常が起こり、ひび割れや剥がれの原因となりますので次の溶剤は使用しないでください：ベンジン溶液、アルカリ溶液、アルコール系洗浄液、ガラスクリーナー、ワックス、ポリッシャー（つや出し剤）、洗剤

セットと付属品の確認

セットの取り出し

大型ディスプレイは4名以上で作業を行うようにしてください。必ず背面の取手(図1)を持って取り出し・移動・設置等の作業をしてください。

上箱を持ち上げ、セット背面のアクセサリ類が入った箱を取り出します。セットを保護しているビニールを引き下げ、両サイド背面の取手をしっかり握って持ち上げます。

セットの取り出し後、あらかじめ準備したウレタンか厚手の保護布マットなど軟らかいものの上に画面を下側にして丁寧に置いてください。適当なものが無ければ取り出した製品のカートンにパッキングを戻し、その上に画面を下にして置き設置用金具の取付作業等を行うことも出来ます。(図2)

尚、本機は重量物ですので、出来れば業務用のリフト機の使用を推奨します。



(*上の写真では保護シートが白色ですが赤色のものもあります。)



図1

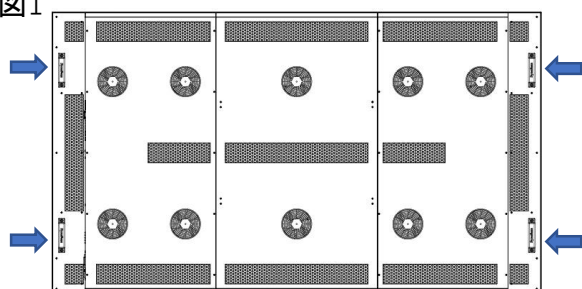
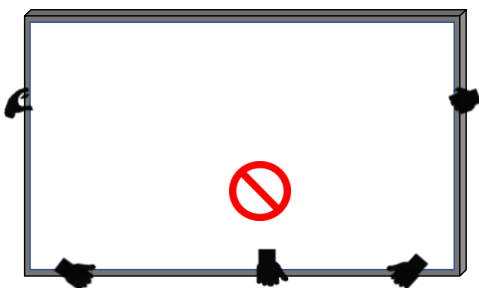
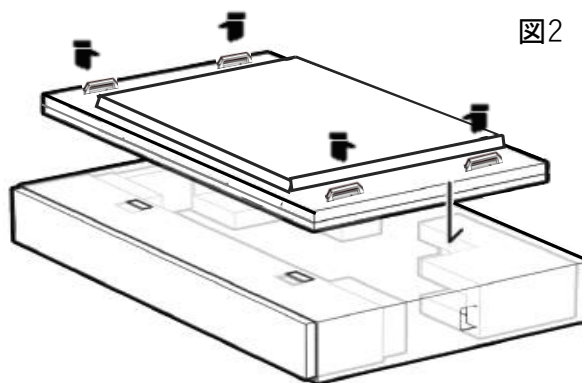


図2

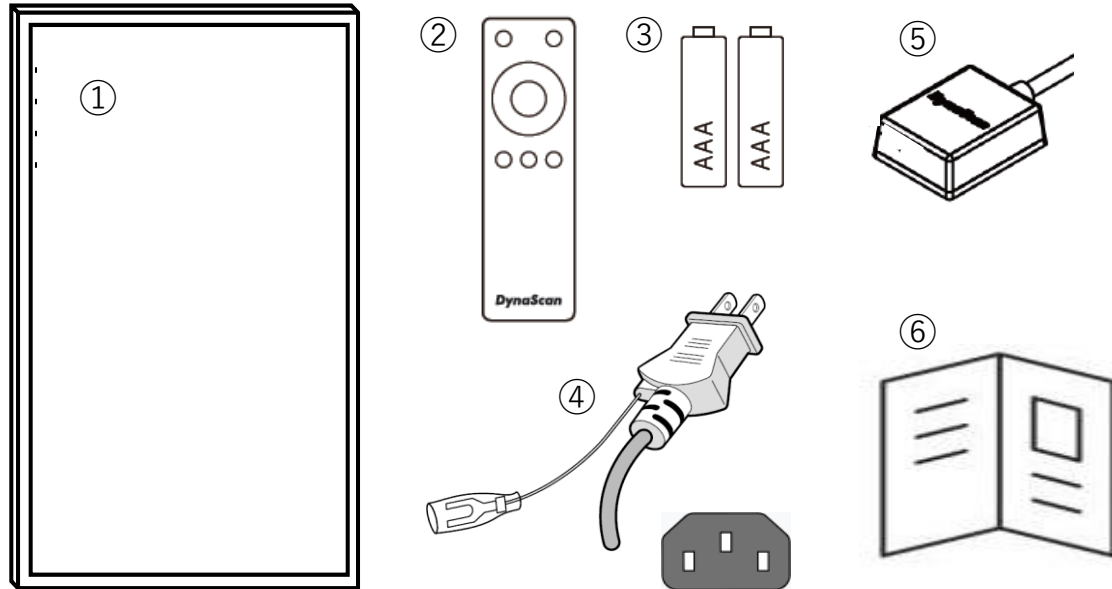


* 注意事項


ディスプレイの周辺フレーム部を強く握って運搬しないようにしてください。また、作業中にセットを直接床に置いたり、不安定な状態で壁に立てかけたりしないでください。破損、転倒等の原因となります。

同梱物の確認

下記のアクセサリがディスプレイに付属していることを確認してください。万が一、いずれかが不足している場合は商品をご購入された代理店まで至急ご連絡ください。アクセサリの色や形状は製品によって異なる場合があります。



- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ① DSシリーズLCDディスプレイ本体 x 1台 | ④ 電源ケーブル x 1本 |
| ② リモートコントローラー x 1個 | ⑤ リモコン・照度センサー x 1個 |
| ③ 電池 (1.5V /単4) x 2本 | ⑥ クイック・スタート・ガイド |

 **注意:** ダイナスキャンディスプレイは世界中で販売されています。万が一、同梱の電源コードがご使用の日本地域に適合していない場合、販売店までお問い合わせください。

リモコンの電池の挿入/交換

1. 電池収納カバーを開きます。
2. 新しい単4電池2本を挿入してください。
3. 電池収納カバーを閉じます。

 **警告:**

- 電池の不適切な使用は液漏れまたは爆発の危険性があります。
- 挿入する際には、電池のプラス/マイナスの向きに注意してください。
- 異なるタイプの電池、あるいは新しい電池と古い電池を同時に使用しないでください。電池の寿命を縮め、液漏れを起こす危険性があります。
- 使用後の電池は収納ケース内で液漏れを起こさないよう取り外し、交換ください。
- 電池に液体が付着している場合、液漏れの可能性がありますので触らないでください。肌を傷つける恐れがあります。

注: リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外しておくことを推奨します。

設置について

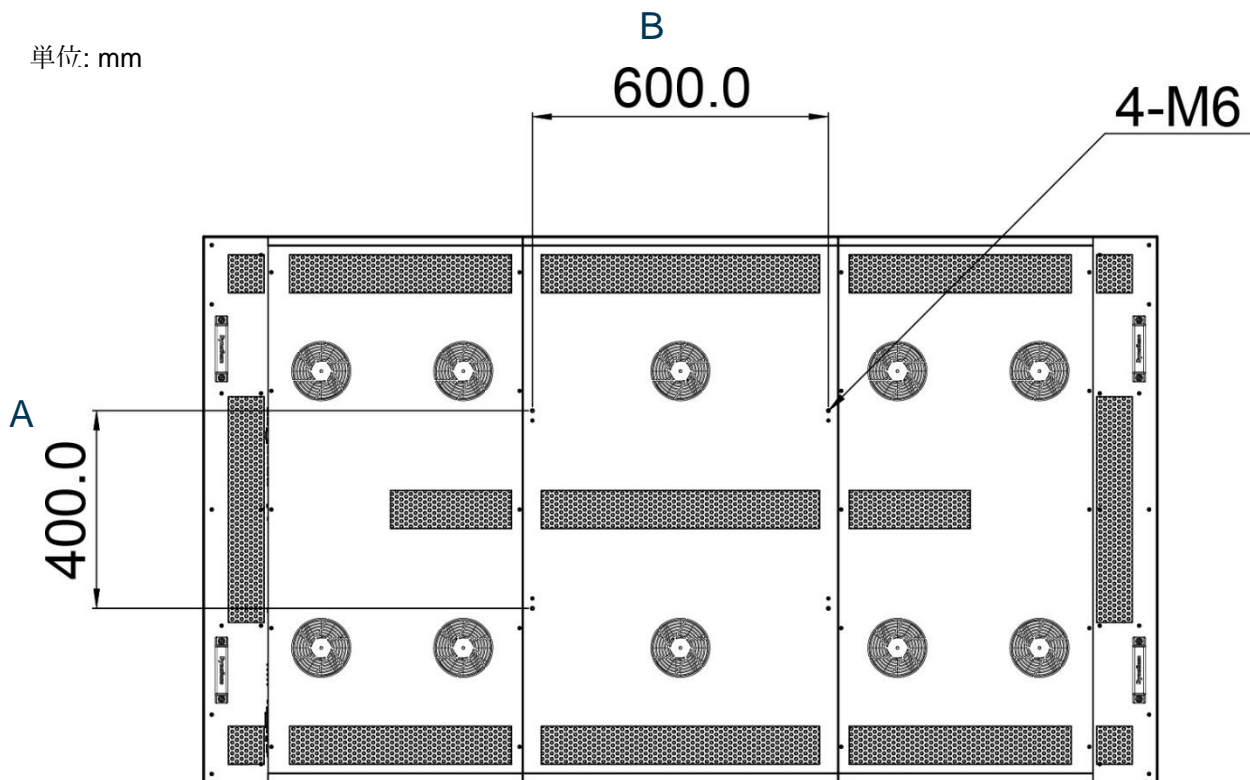
! 本機は屋内用で、設置には VESA 規格に準拠したスタンドや壁掛け用金具が必要です。スタンドや取付金具の説明書・指示に従い、正しく設置してください。不適切な設置は怪我や機器の破損につながります。不適切な設置による破損は製品保証の対象外であり、DynaScan はかかる事態に対する一切の責任を負いません。

- 取付を行われる際、設置は 4 名以上で作業頂くことを推奨します。
- ディスプレイ本体を壁にマウントする場合はユーザーの責任で行って頂きます。壁の強度によっては、ディスプレイを設置できない場合があります。不十分な強度の壁や直立していない壁にマウントするとセットが落下して重大な怪我の要因となる場合があります。不適切な設置、改造、あるいは天災による破損は製品保証の対象に含まれていません。建築や機器設置の専門業者によりディスプレイの重量を支えられるか等、設置場所の査定が事前に行われる必要があります。設置作業は特殊な技術による工事や適切な壁掛け用取付金具、天吊り用金具が必要になりますので、販売店・専門業者へご相談頂くことをお勧めします。
- 壁掛け用マウント金具は付属アクセサリーに含まれていません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを据え付けください。不適切な設置作業、或いは、正規の壁掛け用取付金具以外を使用することにより発生した破損に対して DynaScan は一切責任を負いません。
- スタンドや壁掛け・天吊り用取付金具は販売店・専門業者にご相談頂き、セットのサイズ・重量・取付穴仕様に適した製品の利用をお勧めします。
- 適切に熱が放散されるよう、機器の通気口やヒートシンクは覆わないでください。
- スタンドや金具メーカーの設置ガイドを参照して、適切にマウントしてください。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にしてください。
- 壁掛け用取付金具を設置する場合は必ず機器の電源を切ってください。感電の危険性があります

モデル番号	VESA (mm)		ねじ仕様	ねじ長さ	数
DS861LR4	(A x B)	400 x 600	M6	10mm 以上 12mm 以下 (壁掛け用マウント金具 自体の厚みを除く)	4

* 次ページディスプレイ背面図をご参照ください。

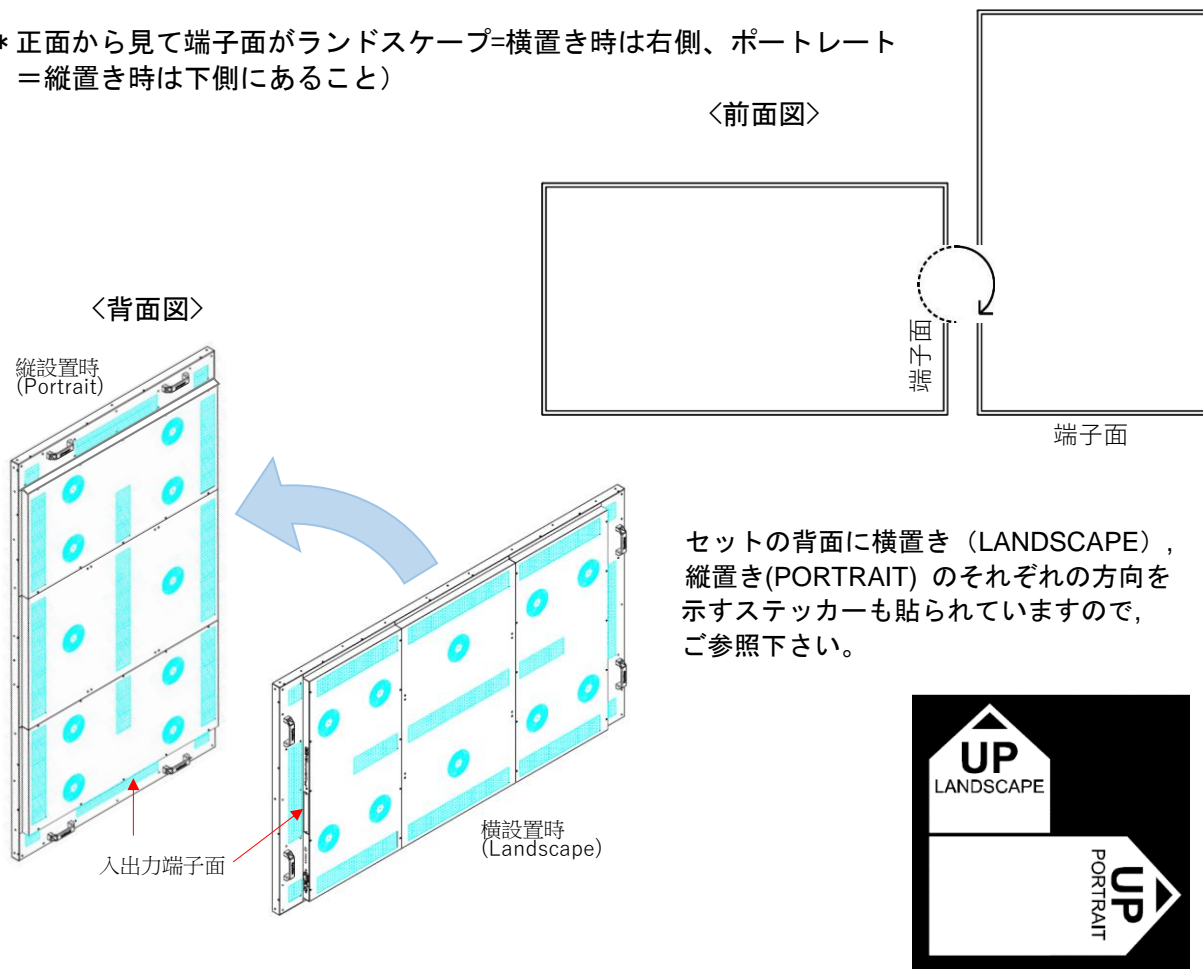
単位: mm



⚠ 設置方向

- ポートレート向き（縦置き）で設置する場合は、本体はディスプレイに向かって時計回りに90度回転させ、左側の側面が上になるように設置してください。

* 正面から見て端子面がランドスケープ=横置き時は右側、ポートレート=縦置き時は下側にあること)

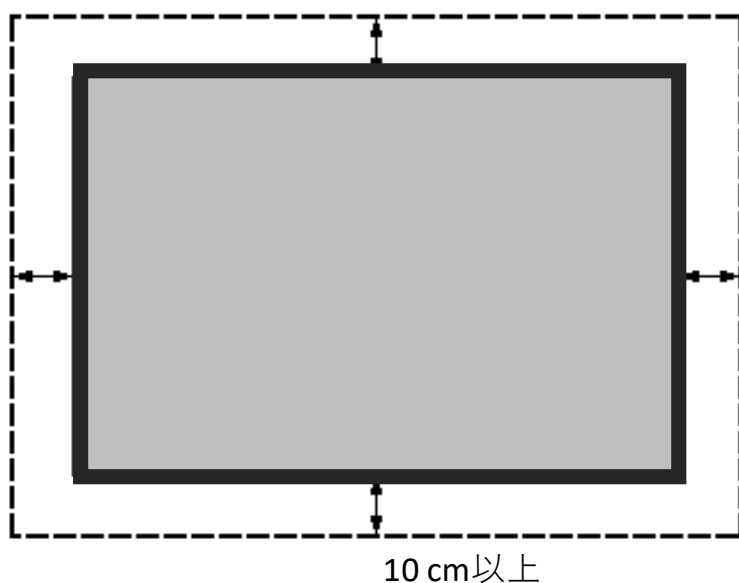




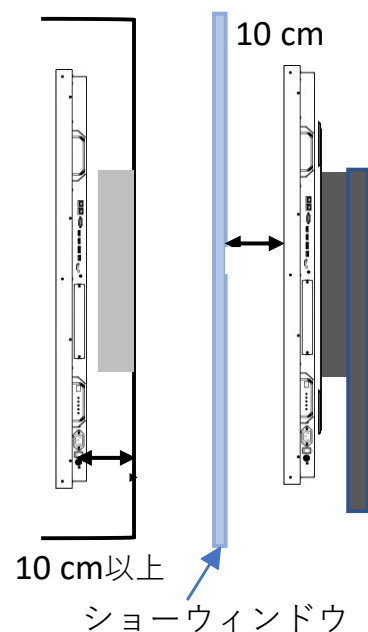
設置場所・条件

- 壁とマウント金具は本体とアクセサリを設置するのに十分な強度である必要があります。
- 強い振動がある場所や埃の多い場所には設置しないでください。
- 建物の主要電源コントロールパネル/配電盤の近くには設置しないでください。
- 関係者以外不特定多数の人が簡単に取り外せない様、本体はしっかり固定してください。
- 適切な通気性を保つ為、セットの周囲から、できるだけ他の物体を離すようにしてください。
- スクリーンを壁に埋め込む形で設置する場合は、本設置条件及び別冊のインストールーションノートの冷却性および通気性を考慮したエンクロージャ（囲み方）の項目を参照ください。

正面



側面



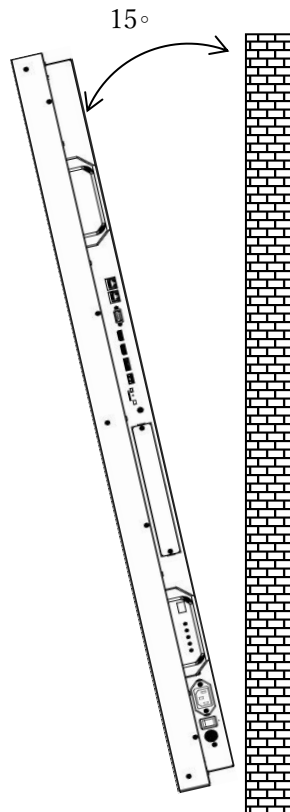
ディスプレイ使用時の周辺温度は 0~40 度の範囲に保って頂く必要があります。

エアコンやエアフローについては別冊の”インストールーション ノート” をご参照ください。



壁掛け設置の場合

- 壁掛け用マウント金具は付属していません。VESA 正規の壁掛け用マウント金具を購入してセットを固定してください。不適切な設置作業、或いは、正規の壁掛け用マウント金具以外を使用することによって発生した破損に対して DynaScan は責任を負いません。
- 設置する場所が本体の重量を支えられるかを設置前に建設業者等専門家に確認して下さい。
- 設置角度は垂直軸に対し 15 度以内にして下さい。
- 壁掛け用マウントを設置する場合は、必ず機器の電源を切ってください。
感電する危険性があります。



注：図は横向き設置時のイメージ図です。

メンテナンス

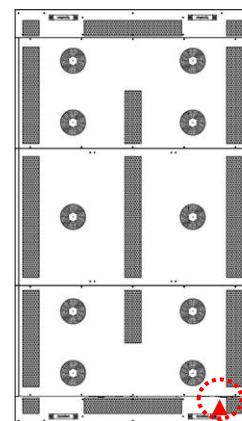
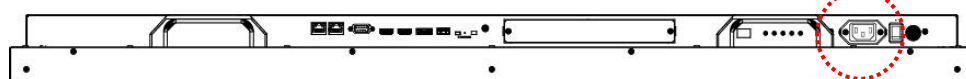
- 留め具に緩みや変形がないか、定期的を確認してください。問題があった場合には、適切な是正措置をとってください。問題/トラブルを放置しておくとうる更に悪化する場合があります。
- 過去にメンテナンス修理をした場所は検査回数を増やし、問題/トラブルが再発していないか確認してください。
- 輸送時に LCD 画面を保護する為にアクリル保護シートが付いていますが、設置完了後取り外して下さい。（乱反射などの原因になります。）

電源への接続

付属の電源ケーブルを、下図の通りにディスプレイの背面に接続します。
電源ケーブルをコンセント(100V~240V, 50 / 60Hz AC 電源)に接続します。

! プラグはしっかりとソケットに挿入してください。
電源の接続が緩い場合、ディスプレイが破損したり、火災の危険性があります。
アースを必ず接続ください。接続が出来ない場合は専門の電気工事業者へご相談下さい。

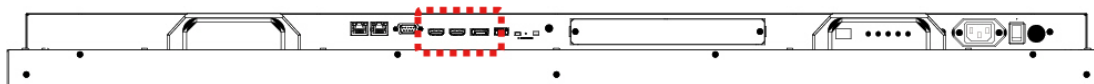
< ディスプレイ縦設置時底面 >



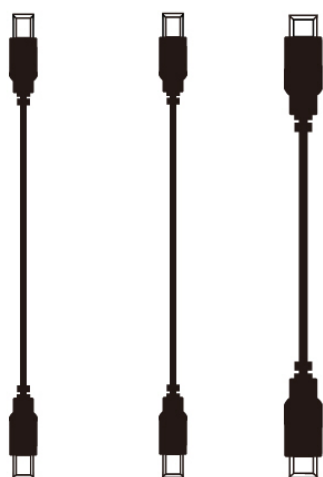
外部ビデオソースに接続する

セットおよび外部ビデオ機器、両方の電源をオフにします。HDMI1 ケーブル（又は HDMI2, DP ケーブル）の一方の端をディスプレイ背面の HDMI1 入力（又は HDMI2, DP 入力）に挿入します。

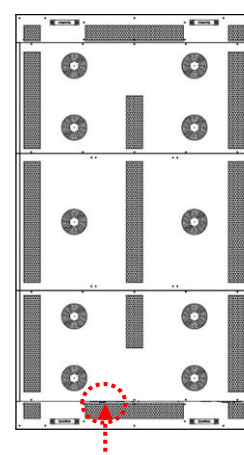
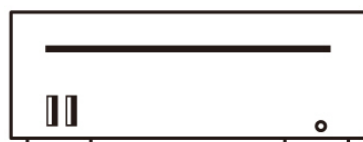
（下図を参照）HDMI1 ケーブル（又は HDMI2, DP ケーブル）のもう一方の端をビデオソースの HDMI1 出力（又は HDMI2, DP 出力）に接続します。詳細につきましては、ご使用になられているビデオ機器のマニュアルを参照してください。



HDMI 1-IN HDMI 2-IN DP-IN

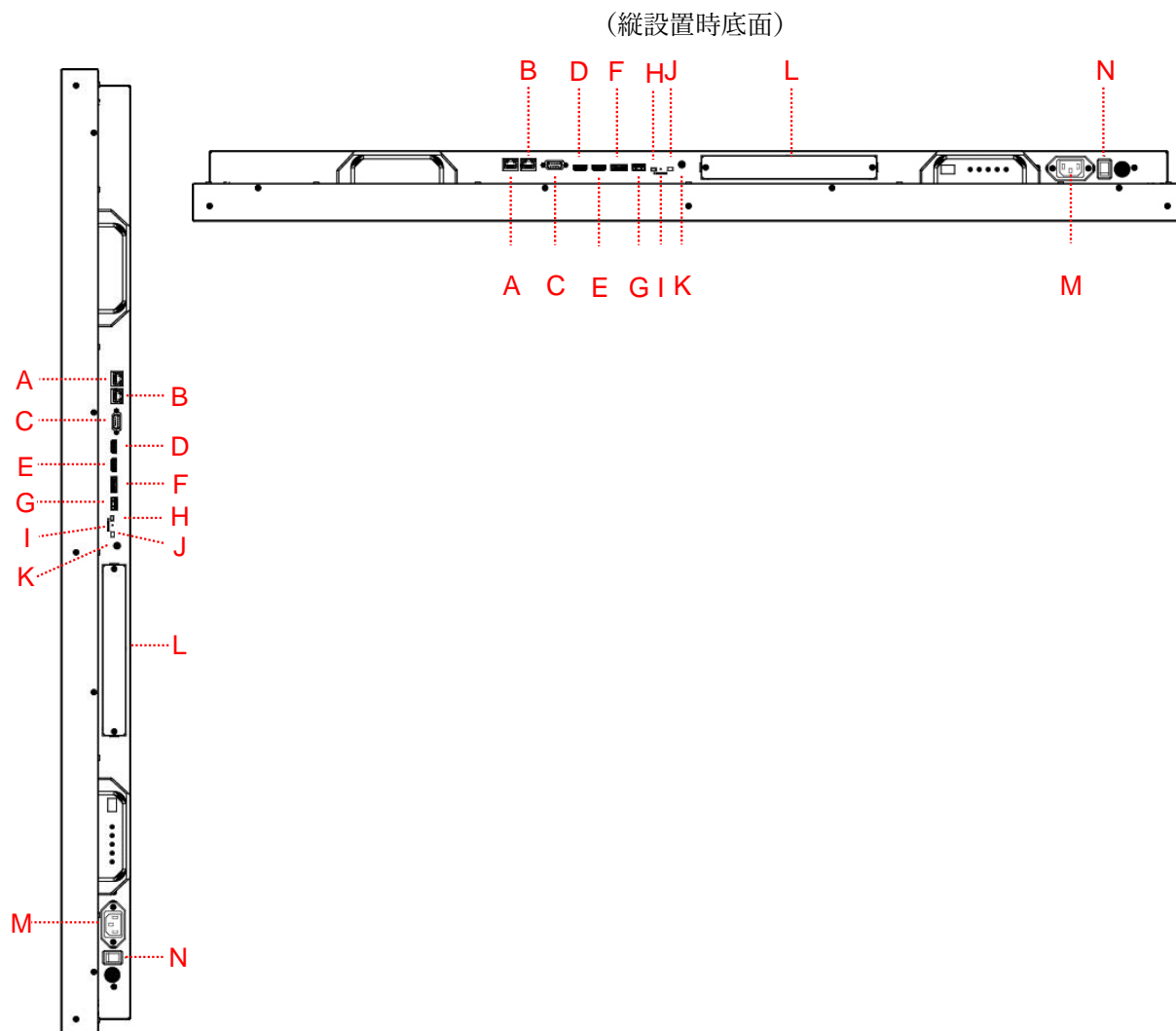


HDMI-OUT HDMI-OUT DP-OUT



入力/出力端子

- A. RJ-45 1 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RJ45 ネットワーク入力接続.
- B. RJ-45 2 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RJ45 ネットワーク入力接続.
- C. RS-232 (入力): PC からの遠隔コントロール用 RS-232C ネットワーク入力接続
- D. HDMI 1 (入力) : PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
- E. HDMI 2 (入力) : PC の HDMI 出力または AV 機器の HDMI 出力を HDMI ケーブルで接続
- F. DP (入力): PC の DP 出力または AV 機器の DP 出力を DP ケーブルで接続
- G. USB3.0 ポート: USB フラッシュドライブストレージ、マウス、キーボードに対応
- H. センサー: オプションのリモコン/照度センサー(ESK302)用コネクタ
- I. Micro SD カード : 128GB までサポート、FAT32 形式対応
- J. サーマル : オプションの IR 拡張サーマルキット (ETK302) 用拡張コネクタ
- K. オーディオ (出力): オーディオ信号出力を外部 AV 機器のオーディオ入力端子に接続
- L. SDM スロット : Intel® SDM 準拠の PC を装着できます。(P.27 ご参照)
- M. AC (入力): 付属の電源コードとコンセントを接続
- N. 電源スイッチ: 主電源のオン/オフを切り換えます.

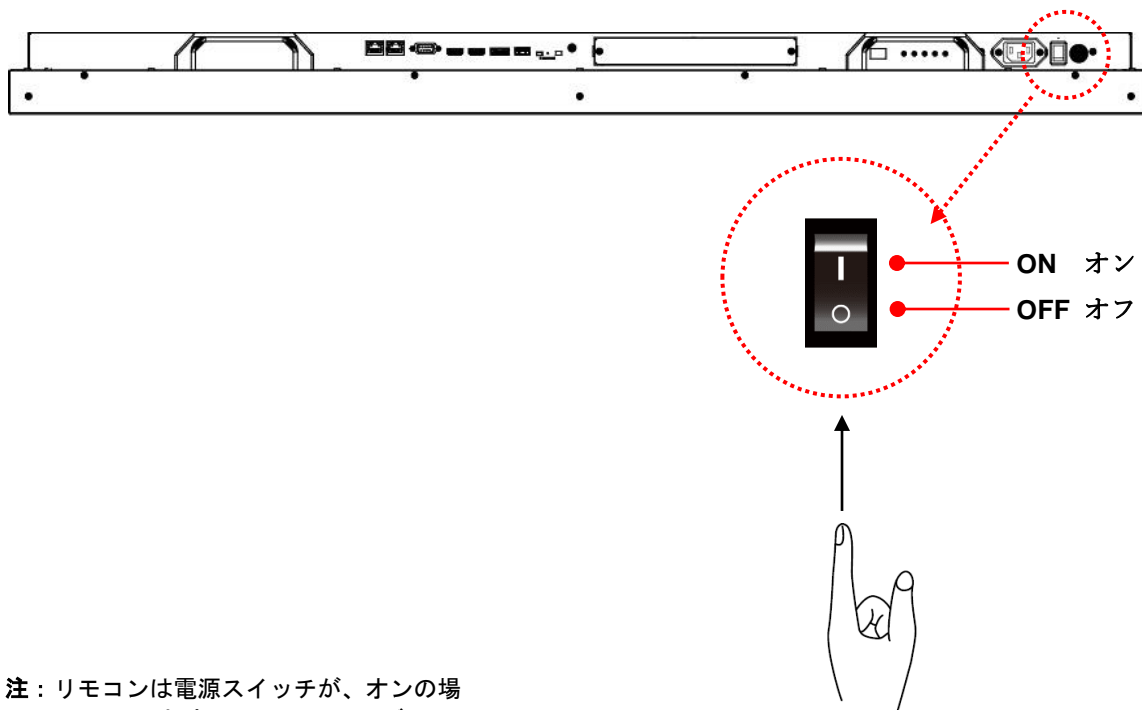


操作説明

ディスプレイのメイン電源を入れる/切る

ディスプレイ電源のオン/オフは、下図の通りディスプレイ背面の電源スイッチを押します。

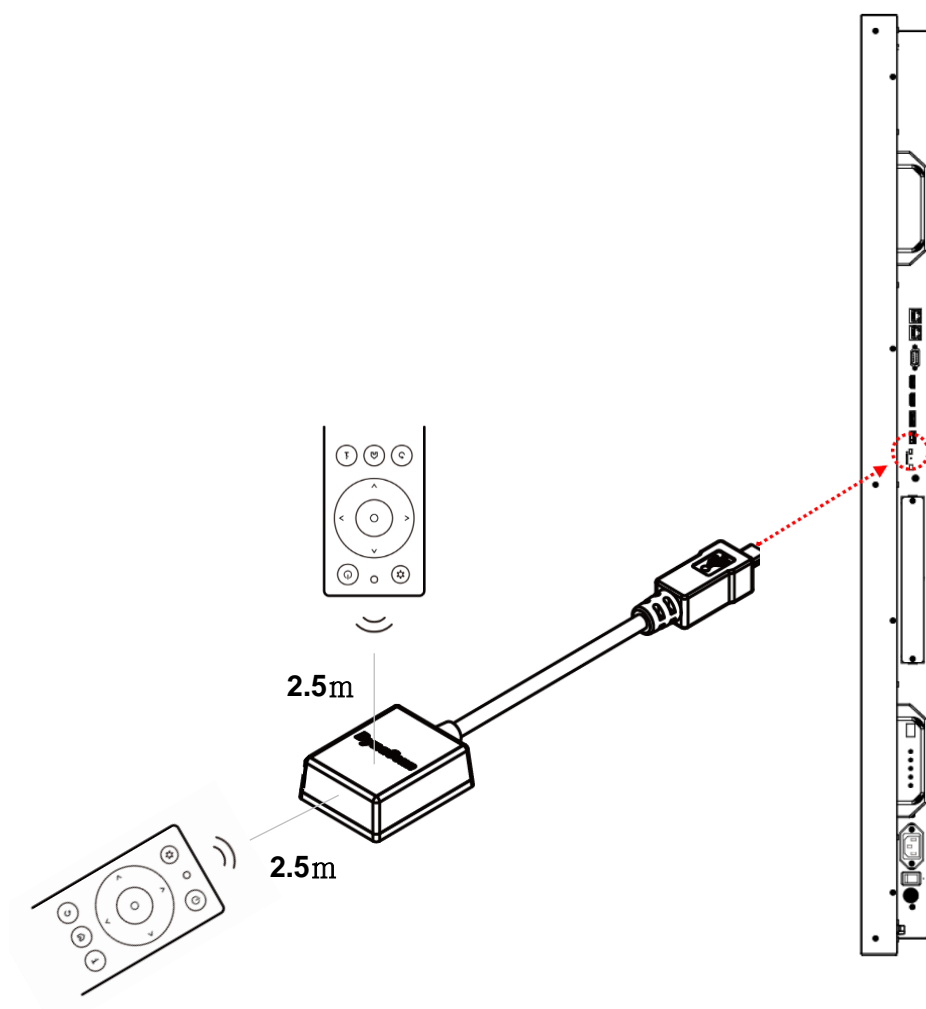
(縦設置時底面)



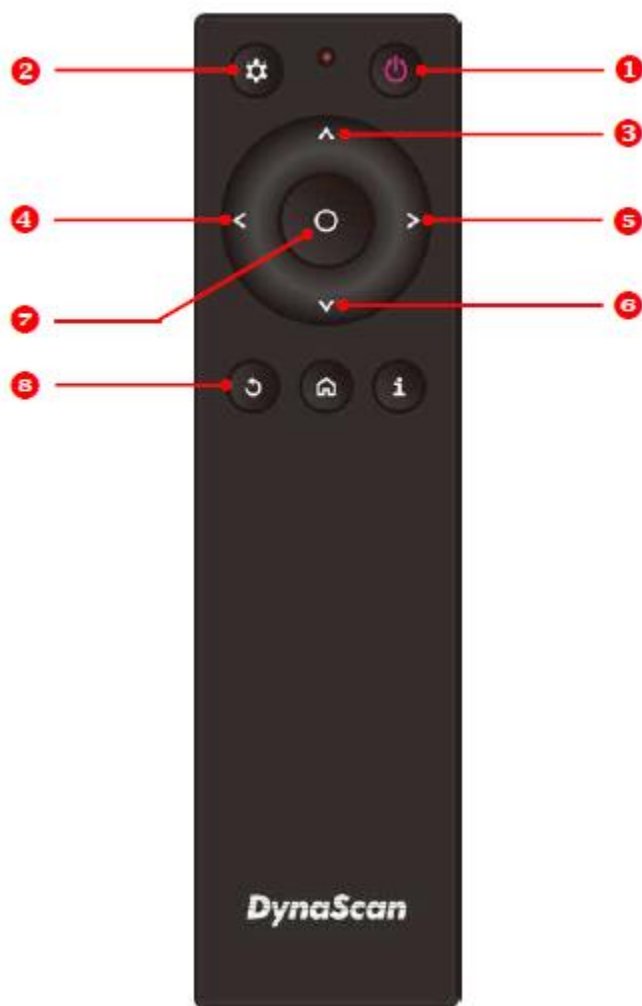
注：リモコンは電源スイッチが、オンの場合のみ作動します。リモコンでディスプレイを稼働させる際、画が出るまで5~6秒かかります

リモコンの使用法

- ・ リモコンを使用する際は、オプションのリモコンレシーバー/照度センサー兼用モジュール (パーツ名 ESK302) が必要です。センサーのケーブルの端子をディスプレイ背面のセンサーポート (ミニ USB ポート/ P. 13 図の K) に接続します。
- ・ センサー部底面は磁石になっていますので、メタル部に設置することが可能です。
- ・ リモコンを使用する際は、同モジュールのセンサー部にリモコンを向けます。
- ・ リモコンの動作範囲は 2.5 メートルです。
- ・ 周囲の光は、リモートコントロールの操作性能に影響する場合があります。蛍光灯やネオンの近くは避けてください。



リモコンの使用方法（続）



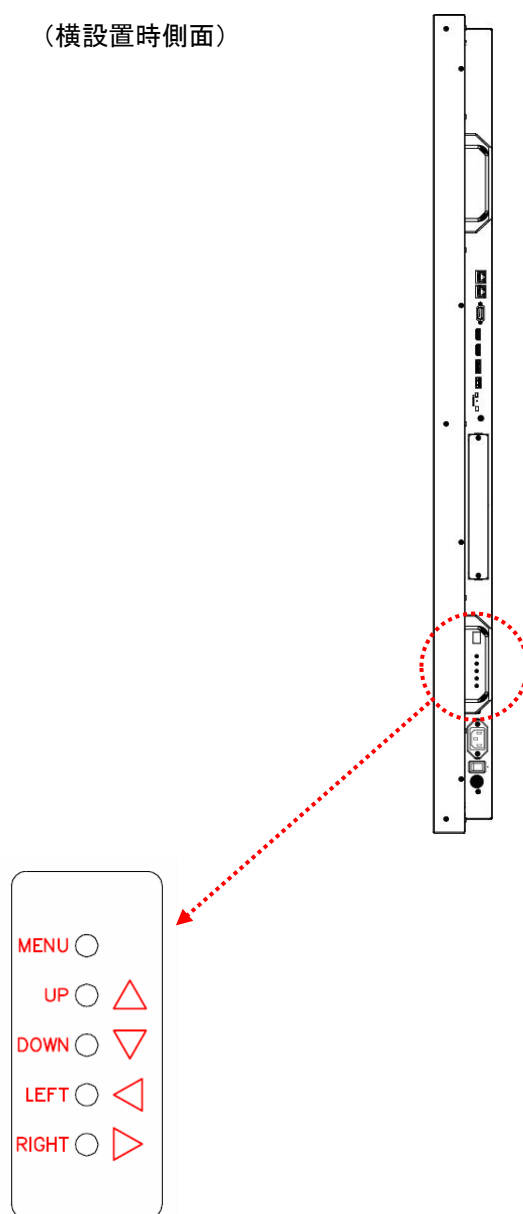
* 型式により色や形状が異なる場合があります。

アイテム		説明
①	POWER（電源）	電源オン/オフ
②	MENU（メニュー）	OSD（オンスクリーン表示）オン/オフ
③	UP（上）	カーソルを上に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
④	LEFT（左）	現在の選択を終了します。
⑤	RIGHT（右）	ハイライトしたアイテムを選択します。
⑥	DOWN（下）	カーソルを下に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
⑦	OK	確定（DSM365のみ）
⑧	BACK戻る	前のページに移動します。（DSM365のみ）

* DSM365=内蔵メディアプレイヤーの名称（後述）

リアパネルコントロールスイッチの使用方法

(横設置時側面)



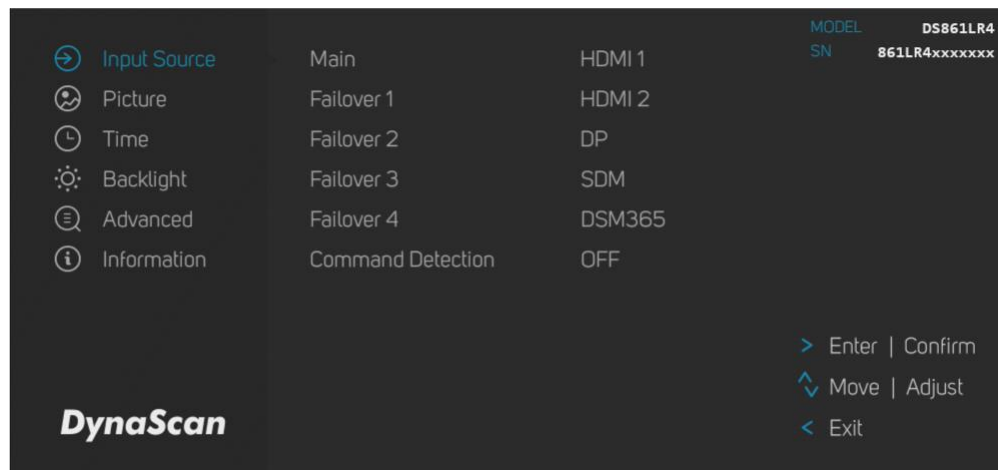
アイテム	説明
MENU (メニュー)	OSDをオン/ オフ、電源をオン/ オフします。
UP (上)	カーソルを上に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
DOWN (下)	カーソルを下に移したり、選択したアイテムの設定を変更します。
LEFT (左)	現在の選択を終了します。
RIGHT (右)	ハイライトしたアイテムを選択します。

OSD(オンスクリーン表示)メニュー操作説明

リアパネルコントロールスイッチまたはリモコンの MENU（メニュー） ボタンを押して OSD を表示します。矢印キーを使用してメニュー項目を選択し調整します。

*各設定の変更は、” LEFT(左)” (p. 16, p. 17 をご参照) を押して最後のメニューレイヤーに戻るときにのみ有効になります。

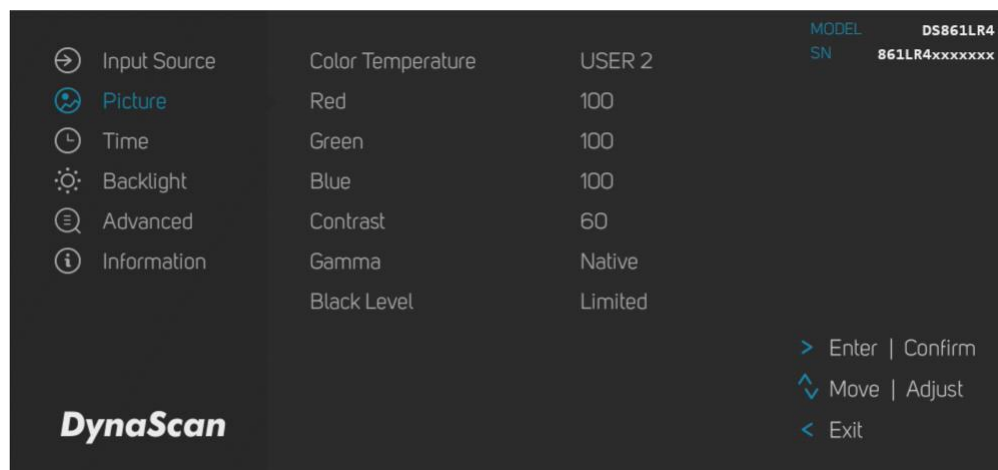
1. Input Source (入力ソースの選定)



* Failover とは優先している入力信号が何等かの理由で途絶えた場合にバックアップとして次の信号を再生する為の設定。左の場合は HDMI1 信号がメイン、もし信号が来なくなったら HDMI2—DP—DSM365(内蔵メディアプレイヤー)の順で入力のある信号を再生。

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Input Source (入力信号)	Main (メイン)	HDMI1	表示するメインの入力ソースを設定します。
	Failover (フェールオーバー) 1	HDMI2	フェールオーバー1番目の入力ソースを設定します。
	Failover (フェールオーバー) 2	DP	フェールオーバー2番目の入力ソースを設定します。
	Failover (フェールオーバー) 3	SDM	フェールオーバー3番目の入力ソースを設定します。
	Failover (フェールオーバー) 4	DSM365	フェールオーバー3番目の入力ソースを設定します。
	Command Detection (PC操作時)	OFF	Main入力時にRS232CでPCによる操作時のみ使用。もしMainもRS232Cコマンド信号も入力されていない場合はFailover1へ自動的に切替ます。

2. Picture (画質調整)

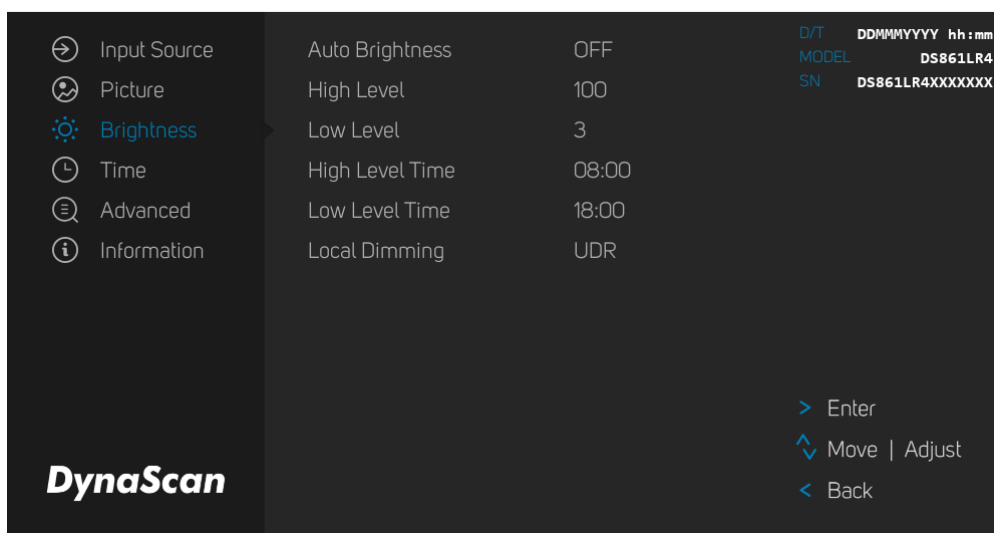


アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Picture (画質)	Color Temperature (色温度)	USER2	色温度を設定します。(User2, User1, D93, D65, D55)
	Red (赤色レベル) *		レッドライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100
	Green (緑色レベル) *		グリーンライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100
	Blue (青色レベル) *		ブルーライトのレベルを調整します。レンジ0 - 100。
	Contrast (コントラスト)	60	コントラストレベルを調整します。レンジ0 - 100。
	Gamma (ガンマ)	Native	ガンマ値を選択します。(Native, 2.2, 2.4, sGamma)

* R, G, B 各色のレベル調整は Color Temperature(色温度)を”User2”に設定した場合にのみ操作可能です。

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
	Black Level (ブラックレベル)	Limited (制限)	ブラックレベルを選択して画面のグレースケールを調整します。ビデオソースに対し「Limited(制限)」にするとHDMIと同様にRGBの16~235階調を使用します。ビデオソースに対し「RGB Full (RGBフル)」にすると0から255の全階調を使用します。「Auto(自動)」はビデオソースのブラックレベルを判別して「Limited」が「RGB Full」へ適合させます。

3. Backlight (バックライト-明るさに関する設定)



アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Backlight (バックライト)	Auto Brightness (輝度自動調整)	Off	輝度の自動調整のオン(On)/オフ(Off)を設定します。 A: 輝度自動調整がオフの場合ディスプレイの輝度はHIGH LEVEL(高輝度モード)の値で維持されます。 B: 輝度自動調整がオン(自動)になっている場合ディスプレイの輝度は外部環境光に基づき調整されます。環境光が明るい場合、画面の輝度の値はHIGH LEVEL(高輝度モード)設定となり、環境光が暗い場合はLOW LEVEL(低輝度モード)設定となります。 C: タイマーモードが設定された場合、ディスプレイはHIGH LEVEL TIME(高輝度モード時間)・LOW LEVEL TIME(低輝度モード時間)それぞれの設定時間に基づき自動的に輝度を切り替えます。 D: Mixモードが選択された場合、タイマーモードで高輝度に設定された時間帯でもセンサーが環境光が暗いと検知すれば画面をLow Level(低輝度モード)へスイッチします。
	High Level (高輝度モード)	100	高輝度モードの明るさを設定します。レンジ0 - 100
	Low Level (低輝度モード)	3	低輝度モードの明るさを設定します。レンジ0 - 100
	High Level Time(高輝度設定時間)	08:00	高輝度モードに切り替える時間を設定します。
	Low Level Time(低輝度設定時間)	18:00	低輝度モードに切り替える時間を設定します。
	Local Dimming (ローカルディミング)	UDR	コントラストを調整します。UDRは最もコントラストが高く、Local Dimming 2は中、Local Dimming 1は最もコントラストが低いソフトな設定です。

4. Time (時間関連の設定)

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Time (時間)	Current Date (現在の日付)	YYYY:MM:DD (年/月/日)	日付を設定します。
	Current Time (現在の時刻)	HH:MM:SS (時/分/秒)	時計を設定します。注: 内部時計は電源がオフの間も機能しています。
	Day of Week (曜日)		曜日を設定します。(月曜日～日曜日)
	Time Zone	GMT+00:00	日本ではGMT+9.00と設定ください。
	Power Control Timer(電源タイマー)	Off (オフ)	電源自動オン/オフ機能を稼働させます。
	Power On Time (電源オン時間)	08:00	電源オン時間を設定します。
	Power Off Time (電源オフ時間)	18:00	電源オフ時間を設定します。

5. Advance (その他の設定)

* Display Manager は Dynascan が提供するディスプレイ制御アプリケーションSWです。詳細は販売店、またはダイナスキャンへお問合せください。

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Advance (アドバンス)	Display Mode(表示モード)	Auto	メニューの向きを変更します。メニューはLANDSCAPE(横向き)あるいは、PORTRAIT(縦向き)モードで表示できます。
	Screen Protection (スクリーン焼き付けの保護)	Off(オフ)	画像の焼き付け保護機能をオン/オフにします。画像焼き付け保護の間隔を設定します。レンジ 0 - 100分 焼き付け保護の為にスクロールする黒いバーが画面に表示されますが、これは故障ではありません。

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Advance (アドバンス)	IR Control (IRコントロール)	On(オン)	メニュー操作のリモコン機能を有効化/無効化します。 注 ：無効化した後は、ディスプレイ本体のコントロールボタン(またはDynaScan「Display Manager」*アプリケーションスW)から再度リモートコントロール機能を有効にする必要があります。いたずら防止等の為に通常は使用せず”ON”の設定のままにしてください。
	AC Back Status (電源復旧対応)	Power On (電源オン)	ACバックステータス機能の状態を選択します。 ・電源オン：停電後、電源が回復時に起動します。 ・スタンバイ：停電後に電源が回復の際ディスプレイはソフトオフ状態を維持します。 ・メモリ：停電後電源が回復するとディスプレイは稼働していた時の最後の状態に戻ります。
	Volume (音量)	50	外部スピーカーへの音量を設定します。レンジ100 - 0
	RS232 CMD Compatible	Off (オフ)	旧機種とのRS232コマンドの互換性を保ちます。(旧機種と合わせてRS232C操作をされる場合のみ使用)
	AutoReboot(En)	On (オン)	本体の自動再起動を設定します。
	AutoReboot(Time)	3:00	自動再起動の時間を設定します。
	Export & Import Settings		OSD設定のインポートまたはエクスポートが可能です。セットを同じ設定で多数ご利用になる際に最初に設定されたセットにUSBメモリーを装着し”Export”を選びますとデータがUSBメモリーにコピーされます。同じ設定をしたいセットにそのUSBメモリーを装着し、同じ項目を選択し”Import”を選びますと同一の設定データが一瞬でコピーされます。
	Reset Default Settings (出荷時の状態に戻す)		すべての設定をデフォルト設定にリセットします。 注 ：現在時刻、電源オン時間、電源オフ時間はリセットされず現状を維持します。
	OSD Password Protection	Off (オフ)	OSDを使用するためのパスワードの設定ができます。(通常使用しません。設定後OSDには”Change OSD Password”の表示が追加となります。設定時は4桁の数字を忘れないようにメモ下さい。)

6. Information (本セットの情報)


➡ Input Source	Resolution	DSM365 3840 x 2160	D/T DDDMMYYYYY hh:mm MODEL DS861LR4
🖼️ Picture	MCB Version	XXXXX	SN DS861LR4XXXXXX
☀️ Brightness	FW Version	XXXXX	
🕒 Time	OS Version	XX.XXXX	
🔍 Advanced	Fan Status	Good	
📄 Information	Cabinet Temp.	XX °C	
	ETK Temp.	XX °C	
	Humidity	XX %	
			> Enter ⬆ Move Adjust < Back

DynaScan

アイテム1	アイテム2	デフォルト	説明
Information (本機の情報)	Model (モデル)	DS861LR4	ディスプレイのモデル名です。
	SN-Serial Number (シリアル番号)	XXXXXXXXXX	ディスプレイのシリアル番号です。
	Resolution (解像度)		入力の解像度を表示します。
	MCB Version (メイン基板)		メイン基板のバージョンを示します。
	FW Version (ファームウェア)		ファームウェアバージョンを示します。
	OS Version	xxxxxx	OSのバージョンを示します。
	Fan Status (ファンの状態)	Good	ファンの状態を示します。Good=仕様条件下で正常動作中。NG=誤動作・システム異常
	CabinetTemp.(筐体内温度)		LCD内BLU(バックライトユニット)部の温度を計測/モニタリング
	ETK Temp. (環境温度)		LCDの外部(環境)温度をモニタリング。別売り温度センサー(ETK302)の取付が必要です。
Humidity (筐体内湿度)		LCD内BLU(バックライトユニット)部の湿度を計測/モニタリング	

仕様

モデル	DS861LR4	
パネル	LCDパネルサイズ	85.6インチ
	ネイティブ解像度	3840 x 2160
	輝度	3500 cd/m ² (標準)
	コントラスト比	3,000:1
	応答速度	8 ms (標準)
	表示角度	178°/ 178°
	ライフタイム	100,000時間 (動作温度が一定の場合)
	パネル表面処理	AG Haze 3% 2H
電源	電源	内蔵
	定格電圧	100V~240V, 50 / 60Hz (200V推奨)
	消費電力	標準 750W, 最大 1300W
機械的仕様	ベゼル幅 (上部/下部/左/右)	17.8 mm 均一
	キャビネットカラー	ブラック
	モニター寸法 (長 x 高 x 奥行)	1935.8 x 1106.8 x 79.0 mm
	モニター重量 (セット/梱包時)	70 kg / 90 kg
	VESAマウント (寸法)	4穴 (400 x 600 mm)
ユーザーインターフェース	OSD言語	英語
環境	作動時の温度	0°C ~ 45°C
	保管温度	-20°C ~ 60°C
	湿度	10%~80% RH結露なし
I/Oポート	HDMI	入力x2 (HDCP)
	DP	入力x1
	RS-232	入力x1
	オーディオ	出力x1
	USBポート	入力x1
	RJ-45	入力x2
	Micro SDカード	入力x1
	Mini USB	入力x1 (センサーESK302用)
	専用ポート (別売りETK302用)	入力x1 別売り周辺温度センサー用
ヒューズ		20A

 *仕様は、予告なく変更する場合がございます。

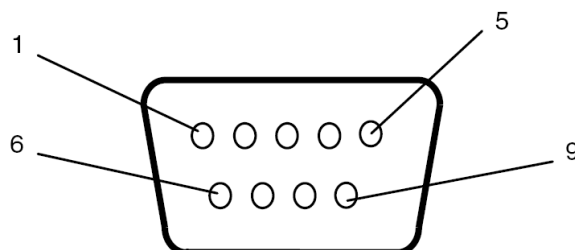
対応入力信号

アクティブ解像度		リフレッシュレート
水平 Pixels	垂直 Lines	
640	480	60 Hz
720	480	60 Hz
800	600	60 Hz
960	600	60 Hz
1024	768	60 Hz
1280	720	60 Hz
1280	768	60 Hz
1280	960	60 Hz
1280	1024	60 Hz
1366	768	60 Hz
1400	1050	60 Hz
1440	900	60 Hz
1600	1200	60 Hz
1680	1050	60 Hz
1920	720	60 Hz
1920	1080	60 Hz
1920	1200	60 Hz
1920	1440	60 Hz
2560	1440	60 Hz
3840	2160	60 Hz

RS-232C ピン配列

RS-232 入力

PIN No.	名称
01	7と8に接続
02	TXD
03	RXD
04	6に接続
05	GNDアース
06	4に接続
07	1と8に接続
08	1と7に接続
09	非接続



トラブルシューティング～故障かと思ったら

問題点	推奨される解決策
画像が表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●メインスイッチがオンの位置になっているか確認してください。また電源コードがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●画像ソースの解像度形式をサポートしているか確認してください（23 ページの「対応入力信号」項目参照）。 ●ケーブルが破損または過度に曲げられていないか確認してください。 ●画像コンテンツがきちんと出力されているか確認してください。
メインスイッチをオンにしても何も作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードをコンセントから抜き、再度差し込んで数秒待ってからサイネージをリセットしてください。 ●コンセントの電力をマルチメーターまたは同じ電圧を必要とする他の機材でチェックして、回路の電力が正しいことを確認下さい。 <p>注：電源コードを抜いても設定は変更されません。</p>
画像が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ケーブルがしっかりと挿入されているか確認してください。 ●映像ソースのコンテンツが不安定かどうかを確認します- <p>*いいえの場合、同じ解像度を使用して同じケーブル/コネクタタイプの別のモニターでコンテンツをテストします。</p> <p>*はいの場合-コンテンツを修正する必要があります。</p>
リモコンが機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンに電池が入っているか確認してください。 ●電池が新しいか、プラス/マイナスの向きは正しいかご確認ください。 ●リモコンをリモコンセンサーに向け操作範囲内で操作しているか確認してください。 ●明るい光がリモコンに干渉している場合があります。リモコンは特定の蛍光灯やネオンライトの近くでの使用は避けてください。 ●OSD で IR Control (リモコン操作) On / Off の選択を確認します。
自動オン/オフが機能しない、あるいは正しく機能しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●メニュー内のTIMER(タイマー)設定がOFF(オフ)になっていないか確認してください。 ●「Power On Time (電源オン時間)」と「Power Off Time (電源オフ時間)」が正しく設定されているか確認してください。
RS-232 を介してディスプレイを遠隔コントロールできない。	<ul style="list-style-type: none"> ●RS-232 ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

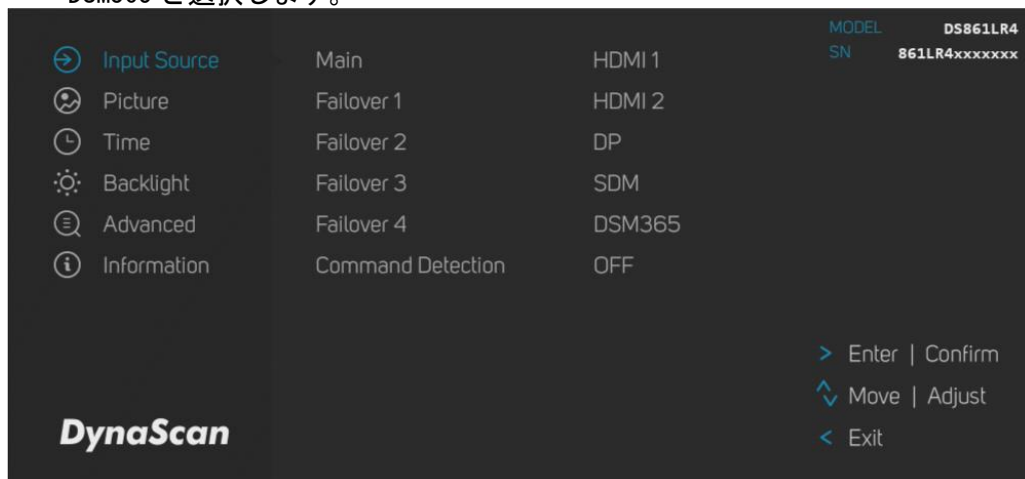
本モデルの問題が解決されない場合は、取扱店または DynaScan まで、直接お問い合わせください。

DSM365 について

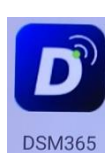
DSM365 は、USB メモリー/microSD カードにより一般的な静止画・動画のコンテンツを簡単に再生が出来るディスプレイ内蔵の Android ベースメディアプレイヤーです。

1. DSM365 に切り替えるには

- リモコン(或いは本体リアパネル)の MENU (メニュー) ボタンを押して OSD を表示します。
- 矢印キーを使用して入力ソースを選択し、Input Source (入力ソース) → Main (メイン) → DSM365 と選択します。



- リモコンのホームボタンを押します。アンドロイドの画面になりますので、DSM365 を選択して決定ボタンを押して下さい。右下の画面になりましたら準備完了です。



本説明は初めてのご使用時のもので、一旦 USB にコンテンツを入れて挿入すれば、次回からは DSM365 を選択すると自動的に再生を開始いたします。

2. コンテンツについて



再生対応コーデック
静止画：JPG, PNG
動画：MP4



縦設置 (Portrait) の場合は、画像の左側が上になるように作成してください。

簡単自動再生の場合、ファイル名順に再生されますのでファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を振れば、その順番で再生されます。

例) 001_xxxxxx.jpg
002_yyyyyy.mp4

3. 簡単再生について

前述のファイルの頭部分に再生する順番に 01、02 のように番号を付けた名前で USB（又は Micro SD）にセーブされたコンテンツの自動再生の設定方法です。一度設定すれば、新しいコンテンツに切り替える際も本設定は維持されていますので、簡単にコンテンツの更新・再生を行うことができます。

①



作成されたコンテンツの記録された USB メモリーを差し込んでください。(又は Micro SD カード)

②



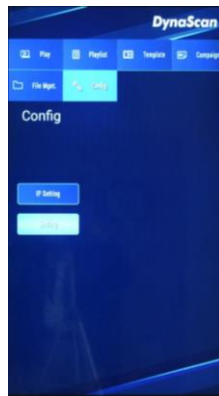
リモコンの○(決定)ボタンを押すと③の画面が表示されます。

③



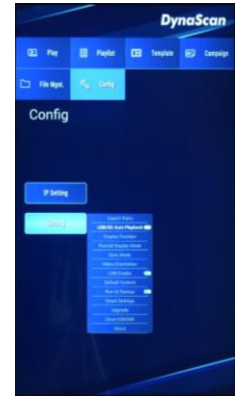
リモコンの上下左右キーを押して“Config”に合わせ(ハイライトになります)、決定を押してください。

④



次に“Setting”を選択し決定ボタンを押してください。

⑤



“USB Auto Playback”を On にしてください。

⑥



次に“Display Duration”を選択し、再生される静止画像の秒数を決めます。

⑦



5秒、10秒、30秒から選びOKを押します。(＊動画コンテンツはその長さでのみ再生)

⑧



リモコンの⏮ ボタンを数回押しと自動的に再生が始まります。

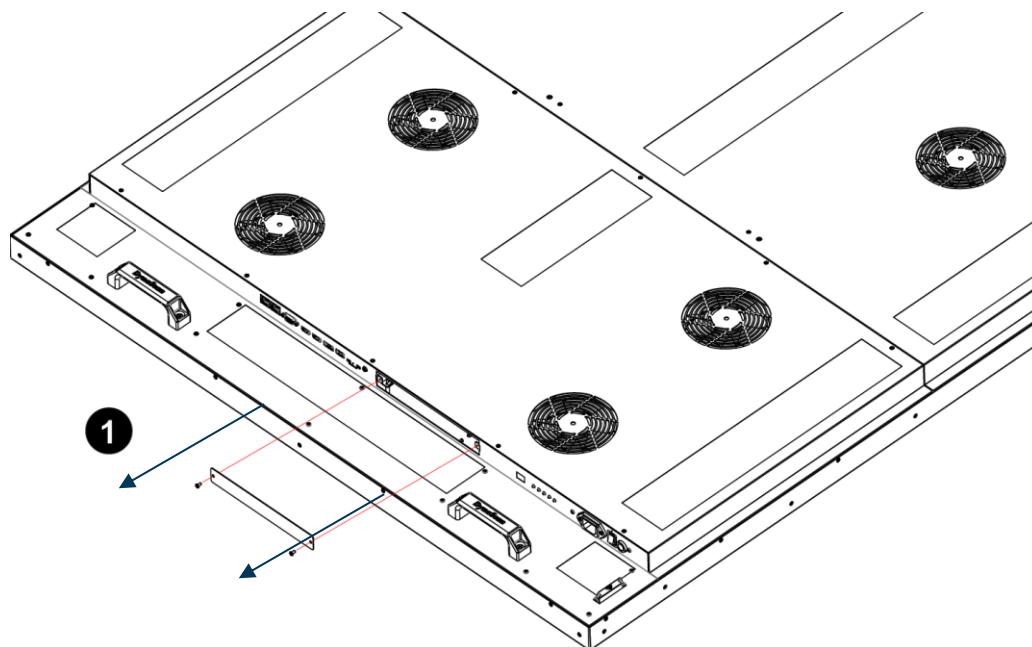
* DSM365 オペレーティングシステム使用方法詳細については別冊をご覧ください。

Intel®SDM(スマート・ディスプレイ・モジュール)について

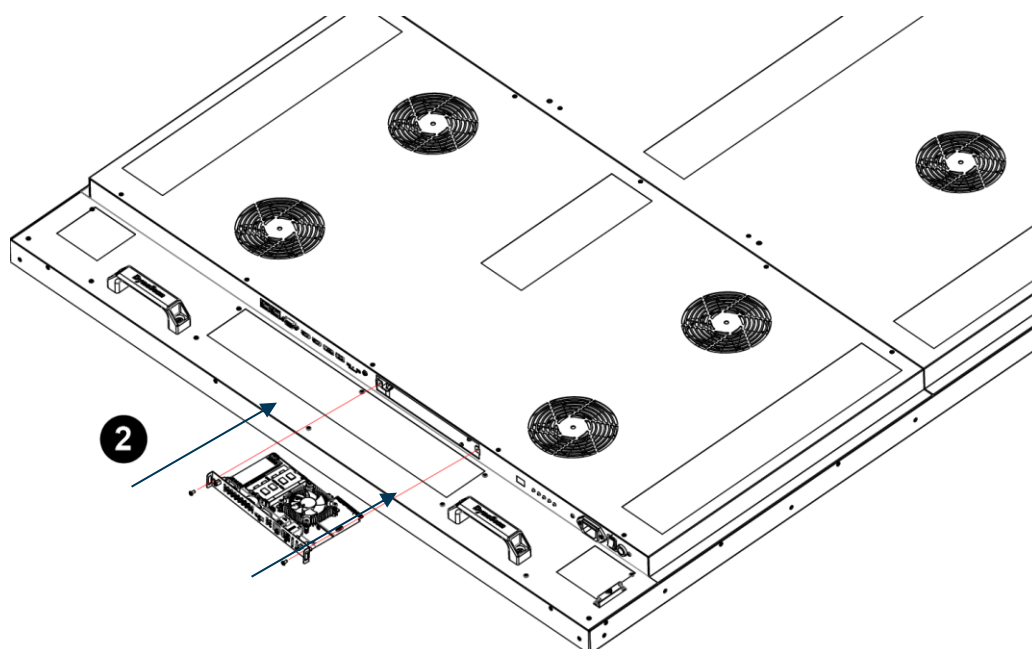
インテル® スマート・ディスプレイ・モジュール (Intel® SDM) 対はインテル社の提唱するディスプレイ用のボードタイプPCです。用途に応じた CPU グレードを選択することが可能です。
本機種は同規格に準拠した PC をケーブルレスで装着可能なスロットを装備しています。

Intel® SDM 準拠 PC の装着方法

1. SDM スロットのカバーのネジを緩めて本体から取り外します。

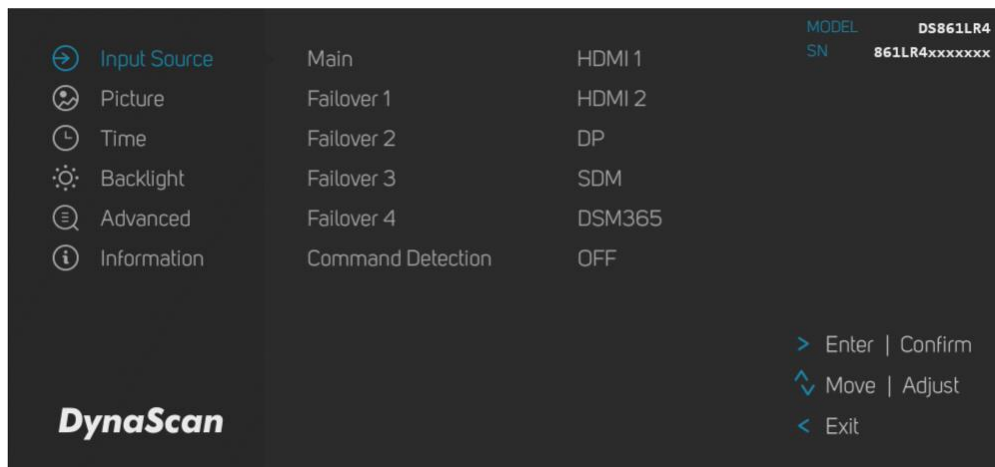


2. SDM PC を挿入しスロットのカバーのネジを締めます。SDM PC が正しく組み込まれていることを確認してください。



SDM 画面に切り替える

- リモコン(或いは本体リアパネル)の MENU (メニュー) ボタンを押して OSD を表示します。
- 矢印キーを使用して入力ソースを選択し、Input Source (入力ソース) → Main (メイン) → SDM と選択します。



* ご不明点・ご質問等ございましたら、販売店或いは下記までお問合せください。

=====

www.dynascandisplay.co.jp

www.dynascanusa.com

ダイナスキャン・テクノロジー・ジャパン株式会社
〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 888 番地

Copyright © DynaScan Technology, Inc. All Rights Reserved.